



セイフルニュースレター  
省エネ“なう”通信



2019年12月

第79号

セイフルの最新情報はこちらから  
[www.safulle.co.jp](http://www.safulle.co.jp)



今月のセイフルなう

災害時のエネルギー対策どうお考えですか？  
非常時の電源供給のために知っておきたい

電源確保のためのBCP対策特集

セイフル主催講習会

工場設備用パッケージエアコンについて

講師：東芝キャリア株式会社

詳しくは裏面をcheck!! →

省エネ・コスト削減・設備のことなら  
何でもお気軽にご相談ください



セイフル株式会社

埼玉県深谷市上野台2423-6  
TEL:048-572-2442  
FAX:048-572-6840

担当：剣持(けんもち)

セイフル主催技術講習会 申し込み用紙

ご応募方法：必要事項を記入の上、下記お問い合わせ先までFAX、メールのいずれかでご連絡いただくか、弊社担当へ直接ご連絡ください。

講習会テーマ：工場設備用パッケージエアコンについて

講師：東芝キャリア株式会社

実施日：2020年1月23日(木) 15:00～17:00

会場：セイフル株式会社 2F 会議室 参加費用：無料(先着15名程度)

\*日程・時間・内容などは、変更になる場合があります。ご了承ください。

講習会申込書

御社名		参加人数	名
参加者名			
ご連絡先			

\*当日は受付用にお名刺を1枚(お待ちの方は)お持ちください。

今後実施してほしい講習のリクエストがあればご記入ください。

今後実施してほしい講習のリクエストがあればご記入ください。

ぜひご参加ください。お待ちしております!

お問い合わせ

048-572-2442

FAX:048-572-6840  
MAIL: satoshi-kenmochi@safulle.co.jp

担当：剣持(けんもち)

～災害時のエネルギー対策で非常時に備える～

# 電源確保のためのBCP対策特集



先着10名様限定!  
12月20日まで  
お問い合わせを!

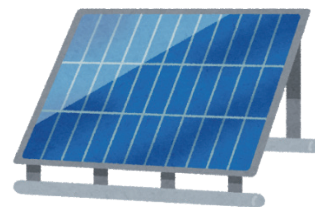
非常時の電源供給のために知っておきたい  
“BCP対策レポート”を無料進呈中!

お問合せ限定特典

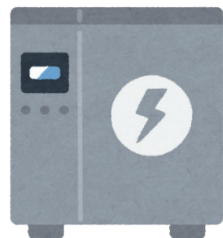
台風の大型化や地震の頻発、局地的な大雨といった大きな災害が日本各地で起こっており、特にここ数年は日本に大きな影響をもたらす災害が増えています。災害時の対策は後回しにできず、必要不可欠な内容としてBCP(事業継続計画)対策に重点を置いている企業様も増えています。一方で、BCP対策など“非常時に安全であるか”は企業の信頼を評価する上でも重要視されており、非常時の災害リスクが少ない企業ほど取引先として選ばれています。そこで今回はBCP対策の1つとして重要な非常時の電源確保手法をご紹介します。



## 大規模災害発生時は「電源の確保」が重要!!



自家消費型太陽光



蓄電池

### 01. 大規模災害時は電気復旧に最長1週間かかる!?

大規模災害により停電が発生すると、**最長で1週間近く電気が停まる**ことがあります。2018年6月に起きた西日本豪雨では、約1週間もの間停電が続きました。2019年9月9日に直撃した台風15号では、約85万軒が停電し、翌日の9月10日になっても64万軒近くの停電が続きました。

### 02. 停電時は通信手段を確保するための電源がポイント

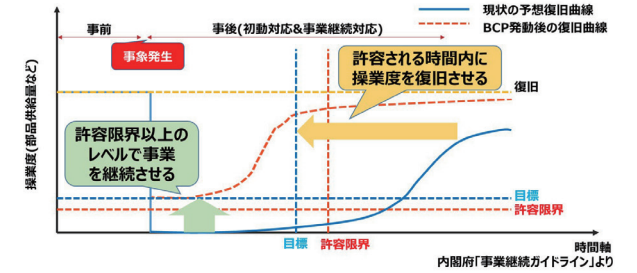
大規模災害が起きた時、重要なのが**通信手段を確保すること**です。**従業員の安否確認や被害状況の把握、業務再開に向けた指示**等、多くの場合で通信手段があることが重要となります。また、**取引先への連絡を適切に取る**ことができ、**信頼関係の維持**にも繋がります。

“電源”の非常時対策のポイントは“非常時に必要な電力”を知ること!



### “非常時に必要な電力”で電源供給システムが決まる

左の図は内閣府の事業継続ガイドラインで紹介されている図です。この図で示されている通り、有事の際には操業度がゼロとなり、自社の操業に必要な電力(許容限界)を下回る可能性があります。そのため、大規模災害が起こる前に自社の操業に必要な電力を把握し、電源供給システムを構築しておく必要があります。災害などの有事の際は「復旧までのスピード」で被害の大きさが変わります。だからこそ、自社の操業に必要な電力を知っておくことはBCP対策にとって重要です。



### 「自家消費型太陽光+蓄電池」で“非常時以外も使える”電源供給システムへ

電源供給システムとして近年は「自家消費型太陽光と蓄電池」の組み合わせを活用することが多くなっています。自家消費型太陽光で発電し、蓄電池で電力を溜めることにより、非常時の対策として活用することはもちろんですが、普段の稼働の電力へ活用してデマンドを下げ、電気料金の削減が可能です。さらに、自家消費型太陽光と蓄電池はメンテナンスにかかる経費や手間が比較的小さく、手間をかけずに普段から活用して「非常時の対策もできる」電源供給システムです。

非常時 → BCP対策

通常時 → コスト削減

### 電源の確保は補助金を使って“賢く”対策しましょう!



自家消費型太陽光

自家消費型の太陽光は、電力料金削減方法としてこれまで普及してきましたが、ここにきて**BCP対策としての活用方法も注目**されています。太陽光パネルを自家消費型として設置した場合、**通常時は電気を発電して節電対策**になり、大規模災害等による**停電時には非常用電源として活躍**します。また、時期によっては**補助金を活用**することも可能です。

補助率  
太陽光発電:  
設備費+工事費、  
事務費並びに  
その他必要経費の **1/3** 以下  
上限 中小企業: 7万円/kW  
中小企業以外の民間: 6万円/kW



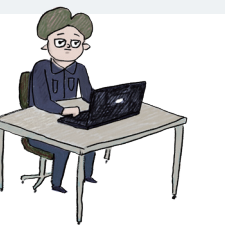
蓄電池/UPS

蓄電池やUPSも電源確保には重要な役割を果たします。一瞬の停電が大損失につながる可能性がある大手の金融機関では、オフィスの**停電対策として約20台の蓄電池**を導入した事例もあります。停電時の対策として、**まず考えるべきです。自家消費型の太陽光パネルと併せて活用**することで相乗効果が期待できます。時期によって**補助金を活用**することができます。

補助率  
設備費 **7万円/kW** 以下  
上限 中小企業: 7万円/kW  
中小企業以外の民間: 6万円/kW

先着10名様限定!  
12月20日まで  
お問い合わせを!

## 非常時の電源供給のためにも知っておきたい “BCP対策”レポート無料進呈!



#### お客様お問い合わせ記入欄

内容に関して、ご興味がありましたら下記をご記入の上 FAXして頂くか、お電話にてお問い合わせ下さい。

- 上記の“BCP対策レポート”を希望する!
- BCP対策について相談したい!

TEL:048-572-2442 FAX:048-572-6840

貴社名: \_\_\_\_\_  
ご担当者名: \_\_\_\_\_  
ご住所: \_\_\_\_\_  
電話番号: \_\_\_\_\_  
メールアドレス: \_\_\_\_\_@\_\_\_\_\_